

研究者キャリアの 新しい、選択肢

第4回 2026.10.14 (水) 15:00~17:00
(14:30開場・受付開始)

研究成果が社会実装へ向かうとき、そこにはどのような異分野連携と現場実装の工夫があるのか。食料生産技術を例に、研究者としての選択肢の広がりを考えます。

開催方法 ハイブリッド開催
【会場定員20名、オンライン定員30名程度】

会場

帯広畜産大学 産学連携センター1Fロビー
(帯広市稲田町西2線11番地)

内容

登壇者による講演、トークセッション ほか(終了後、会場参加者を対象に名刺交換の時間を設ける予定です)

石橋 勇志氏

株式会社SACMOTs 取締役CTO /
九州大学大学院農学研究院・教授

地球環境変動下における安定的な食料生産技術の構築は世界的課題であり、特定の研究手法に捉われず異分野の研究者や食料生産に関わる様々なステークホルダーの方々と協力しながら食料問題解決へ挑戦中。2025年12月に研究室の卒業生と共に農業分野における大学発ベンチャーを創業。

研究者出身CXO
【種子改変・加工技術】



川村 健介氏

株式会社Pasture Japan
取締役CTO/
帯広畜産大学 環境農学研究部門
准教授

1977年生まれ。山口県出身。2005年に岐阜大学で学位取得後、農環研(現:農研機構)とAgResearch(ニュージーランド)でポストドク、2008年に広島大学大学院国際協力研究科准教授、2016年から国際農研(JIRCAS)研究員を経た後、2022年から帯広畜産大学環境農学研究部門准教授として、リモートセンシングとAI技術を活用した草地生態系の保全と精密管理にかかる教育研究に従事。

研究者
【草地生態学・リモートセンシング】



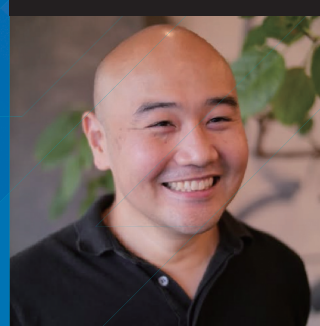
尾崎 典明氏

エスファクトリー 代表 / 一般社団法人TXアントレプレナーパートナーズ 副代表理事 /
筑波大学国際産学連携本部 客員教授

2004年九州工業大学大学院・工学研究科物質工学専攻修了 同年コンサルティング会社へ入社、中小から大企業に対する新規事業・新商品開発支援および知財戦略立案等の業務に携わる。2009年エスファクトリーを創業、企業に加え、地方自治体、NPO、スタートアップに対しアドバイスを行う傍ら、経済産業省や中小企業基盤整備機構等のコーディネータ、アドバイザー等を歴任。また、一般社団法人TXアントレプレナーパートナーズでは特に研究開発型スタートアップに対し実践的なメンタリング等を行う。およそ20年に渡り、ものづくりやサービス、業種業態問わずまたその事業ステージによらず、それぞれの企業が有する課題に応じた支援を実践してきたことから、日本全国に企業や官公庁、地方自治体、大学等、幅広いネットワークをもつ。

講演タイトル 研究開発型スタートアップのすゝめ

専門家



研究成果の社会実装は、研究の発展や将来のキャリア形成につながる選択肢の一つです。本イベントでは、研究を基盤に社会実装へ取り組んできた研究者や専門家を迎え、そのきっかけや挑戦の過程、研究活動やキャリアに生じた変化を共有し、研究者としての新たな可能性を考えます。

参加申込 ▶

<https://forms.gle/ybttwSaB6WVJQ7iE7>

申込期限

2026.10.14 (水) 12:00



【主催】小樽商科大学 グローカル戦略推進センター 産学官連携推進部門 / 帯広畜産大学 産学連携センター

【共催】HSFC(北海道未来創造スタートアップ育成相互支援ネットワーク) / 公益財団法人 とかち財団

【運営】有限責任監査法人トーマツ 【お問合せ】hsfc2026@tohmatu.co.jp



HSFC
HOKKAIDO STARTUP FUTURE CREATION
DEVELOPMENT BY MUTUAL SUPPORT NETWORK

研究を続ける、その先の選択肢に触れる